

# 令和6年度の研究の概要

雲南市立佐世小学校

## 1 研究主題 伝え合おう 心が動く 仲間とつながる楽しい音楽

～ 音楽を通じて思いを表現し、人とつながる楽しさを感じることができる器楽の授業づくりを通して ～

## 2 研究主題について

### (1) 今日の課題から

人が、音楽を求めるときはどんなときだろうか。疲れたり、傷ついたりした心を癒すため、自分自身を鼓舞するためなど、その時の自分の心に合った音楽を求めたり、ふと出会った音楽に自分の思い出や思いを重ねたりすることもある。また、大人になってから、楽器の演奏に魅力を感じ、楽器を習い始めることもあるだろう。人が豊かな心で生活するためには、音楽は欠かせないものである。音楽が幸せや安らぎ、元気や勇気を与えてくれるからである。

音楽との関わりが学習として始まる小学校の発達段階において、「仲間と演奏して楽しかった。」という経験をもつことは、一生の音楽の関わり の原点になるものであると考えられる。仲間と演奏して、ひとつひとつの音がメロディーとしてひとつの音楽となったとき、また、自分たちの演奏を聴いてくれる人から拍手をもらったとき、先人がつくった音楽に心が動かされたときなど、音楽が人と人の心を結び付け、子どもたちは、音楽活動の楽しさを感じることができにちがいない。その積み重ねが、子どもたちの未来を豊かなものにしていくのではないだろうか。

これからの社会は、生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用環境は大きくまた急速に変化し、予想困難な社会となることが予測される。そのような変化の激しい時代にあつて、豊かな心で生活することは、より一層重要になってくる。これからの時代をたくましく豊かな心で生き抜くために、様々な音楽に主体的に関わっていく態度や生涯にわたって音楽に親しむための基本的な力を養っていく必要がある。音楽を通じて人とつながる楽しさを感じながら、音楽表現についての対話を通じて、思いや意図をもち、協働して音楽を創っていく主体的・対話的で深い学びの実現を目指して効果的な指導を探るために本主題を設定した。

### (2) 学校教育目標・児童の実態から

本校では、「夢をもち、自分のよさを発揮して、たくましく生き抜く子どもの育成」を学校教育目標とし、「佐世を愛する子」「考える子」「やさしい子」「たくましい子」を目指す子ども像として、日々教育活動に取り組んでいる。本校の児童は、人なつこく、卒業式や入学式など、全校で歌う際には、少人数ながら明るい歌声で歌うことができる。音楽の器楽の学習でも、いろいろな楽器に挑戦しようとする児童が多い。しかし、音楽を聴いて感じたことを言葉で表現したり、演奏への思いや考えをもったり、それを音楽として表現したりする力は、まだまだである。

そこで、音楽を聴いて感じたことを伝え合ったり、音楽への思いを表現したりする力を育みたいと考え、本主題を設定した。

### 3 研究の目的

音楽科の授業づくりを通して、心が動いたことを言葉にしたり、仲間とつながる楽しさを感じたりできる子どもを育成するための効果的な取組を探る。

### 4 研究の視点と取組内容

#### ① 授業づくり

二つの視点	取組内容
主体的に取り組むための工夫	<ul style="list-style-type: none"><li>○題材構成の工夫<ul style="list-style-type: none"><li>・音や音楽との出会い方の工夫</li><li>・題材のゴールに向かう学習活動の明確化と児童との共有</li><li>・生活・行事・他教科との関連</li></ul></li> <li>○学習過程の工夫<ul style="list-style-type: none"><li>・授業のパターン化</li><li>・帯活動の工夫（音符読み・リズム打ち・階名読み・音楽記号の理解・リコーダーの基礎的技能の定着等）</li><li>・音楽の特質に応じた言語活動の適切な位置づけ</li><li>・「めあて」の工夫</li><li>・「まとめ」「振り返り」の工夫 （振り返りの焦点化・自分が学んだことの自覚・相互評価等）</li></ul></li> <li>○ICT活用の工夫</li></ul>
音や音楽で交流し、感じ、考える学習活動の工夫	<ul style="list-style-type: none"><li>○自分の思いや考えをもつ場面の設定</li> <li>○音や音楽・言葉による交流の場の設定<ul style="list-style-type: none"><li>・既習事項の確認</li><li>・考えをもつまでの手順や手掛かりの提示</li><li>・音楽的感受を表現する言葉をひろげる</li></ul></li> <li>○対話の工夫<ul style="list-style-type: none"><li>・対話の場面設定</li><li>・他者との関わりの工夫 指導者と子ども同士 ペア、トリオ、グループ 自分と音や音楽</li><li>・対話の焦点化（音楽的な見方・考え方による対話）</li></ul></li> <li>○対話を深い学びにつなげる工夫<ul style="list-style-type: none"><li>・対話を音楽的表現につなげる</li><li>・対話の可視化・板書の工夫</li><li>・音楽への思いを再構成する</li></ul></li> <li>○ICT活用の工夫</li></ul>

② 研究を支える学習の基盤づくり

○学級経営の充実

- ・共に学び合い、認め合う学級集団作り
- ・学習規律（話し方、聞き方、学習用具）

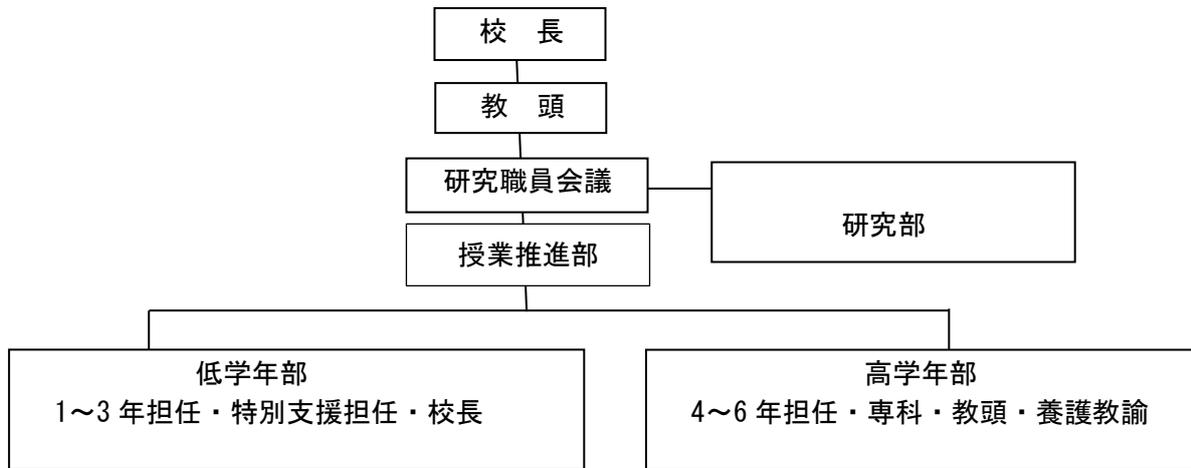
○読書活動の推進

- ・年間を通じた活動（読書記録、朝読書、読み語り）
- ・期間を限定した活動（家読週間、読書週間、読書集会）
- ・学校図書館を活用した授業の実施

○音楽を取り入れた日頃の活動

- ・今月の歌
- ・音楽集会
  - ・「さんぽ」を歌いながら入場しよう
  - ・音の重なりを感じて歌おう「ハローハロー」
  - ・佐世小テーマソングを歌おう
- ・学年の発表
- ・先生や地域の方の演奏を聴こう
- ・感想発表
- ・今月の歌を歌いながら退場しよう

5 研究組織



○研究部

- ・音楽科の授業の取り組み事例などの提案
- ・音楽科の授業の指導案審議
- ・指導案審議、研究授業、研究協議の準備、役割分担
- ・実践のまとめの様式提案 …等々

○授業推進部

- ・全教員が授業推進部に所属し、担任は音楽で研究授業を行う。
- ・指導案の検討や授業研究会の流れ
  - 第1次…低学年部、高学年部で教材研究
  - 第2次…低学年部、高学年部で指導案審議
  - 第3次…指導案審議（職員会議・ミーティング等で）
  - 第4次…授業公開
  - 第5次…授業研究会（原則授業公開の日に全員で行う。）

## 6 研究計画（授業研究の計画は、今後決定）

	研究推進	授業研究	音楽集会	その他授業公開
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究の構想共有</li> <li>音楽室機材選定</li> </ul>			
6月			4日（火） 4・5年音楽発表 表 27日（木） 3校時 （オリエンテーション）	19日（水） 授業公開日
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間指導計画作成</li> <li>授業最初の技能向上のドリル作り</li> </ul>		17日（水） 3校時 （2年生発表）	
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽集会まとめ掲示</li> <li>音楽室レイアウト</li> </ul>			
9月		2年  1年		8日（日）授業公開日 11日（水） デジタルシティズンシップ 3年生
10月		3年	16日（水） 3校時 （3年生発表）	6日（日） 地区民運動会 鼓笛披露
11月		4年		10日（日） 学習発表会 （元気まつり）
12月		6年	18日（水） 3校時 （6年生発表）	3日（火） 県保健体育科学学校訪問 体育 6年生 13日（金） 初任者訪問指導 道徳 4年生
1月	研究のまとめ	5年		16日（木） 授業公開日
2月			5日（水） 3校時 （1年生発表）	14日（金） 授業公開日
3月	来年度へ向けての研究の焦点化			